

京都・山口県代協

代理店BCP策定支援セミナー開催

粕谷氏がポイントをわかりやすく解説

京都代協(小橋信彦会長)と山口県代協(中村俊明会長)は12月8日午後2時から、オンラインで「代理店BCP策定支



粕谷氏



中村会長

援セミナー」を開催した。冒頭、中村会長が近年大型地震や水災等が多発していることに触れ「ま

ずは我々代理店が事前の備えや対策を万全な体制で準備しておく必要がある。その上でお客様に対して最高品質の安心・安全を提供していかねばならない。本日の有意義なセミナーを役立ててほしい」と挨拶した。

粕谷氏は、日本代協が作成した「保険代理店のためのBCP策定簡単ガイド」と、「事業継続力強化計画認定制度申請支援マニュアル」を用いてそれぞれの作成プロセスとポイントをわかりやすく解説した。

とくに、自然災害の発生回数が増え、また激甚化している状況下で、大企業では6割以上であるBCP策定率は中小企業においては16・9%と2割に満たない(中小企業白書)。一方、今後も自然災害が頻発することは間違いなく、損害保険の役割は大きくなるため、中小企業は保険会社と保険代理店に大きな期待と関心を寄せている実情を紹介。そして、代理店になぜBCPが必要かについて、「お客様の要求にこたえるには早期復旧と事業継続が必要で、災害発生時には地域医療機関と同様、直ちに高いサービスレベルが求められる。つまりBCPの重要性は一般企業以上に高いことを認識していただきたい。さらに、代理店がBCPを策定することは、代理店の社会的使命を守る『代理店成長戦略』である」と強調した。

また、事業継続力強化計画認定について、「認定申請するメリットは自社の強靱化もあるが、『資金手当ては保険で行う』という企業が非常に多いため、既存顧客や新たに開拓するお客様に対する情報提供を行うことで、水災担保や利益保険、地震保険が必要なのかどうかといった保険の見直し活動に繋がることだ。ぜひとも前向きに取り組んでほしい」とアドバイスを行った。

最後に小橋会長が閉会の挨拶を行い、午後4時半、セミナーを終了した。